

23五監第207号

平成23年8月19日

五島市長 中尾郁子様

五島市監査委員 木戸庄吾

五島市監査委員 谷川 等

平成22年度健全化判断比率等の審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、審査に付された平成22年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率並びにそれらの算定の基礎となる事項を記載した書類の審査を行ったので、その意見書を送付します。

平成22年度五島市健全化判断比率審査意見書

1 審査の期間

平成23年8月5日から同月19日まで

2 審査の方法

送付を受けた健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、決算書、関係帳簿等と照合し、必要に応じ関係職員の説明を聴取して、その計数の正確性を審査した。

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認めた。

(単位：%)

| 区分 | 実質赤字比率 | 連結実質赤字比率 | 実質公債費比率 | 将来負担率 |
|---------|-----------------|-----------------|---------|-------|
| 平成22年度 | — (黒字比率3.39) | — (黒字比率7.10) | 14.5 | 60.1 |
| 平成21年度 | — (黒字比率4.41) | — (黒字比率8.08) | 15.3 | 83.3 |
| 早期健全化基準 | 12.55 | 17.55 | 25.0 | 350.0 |
| 財政再生基準 | 20.00 | 35.00 | 35.0 | — |

(2) 個別意見

ア 実質赤字比率について

平成22年度は、黒字比率が3.39%となっている。前年度と比較すると1.02ポイント下回ってはいるが、実質赤字額はなく、良好な状態にあると認められる。

イ 連結実質赤字比率について

平成22年度は、黒字比率が7.10%となっている。前年度と比較すると0.98ポイント下回ってはいるが、連結実質赤字額はなく、良好な状態にあると認められる。

ウ 実質公債費比率について

平成22年度の実質公債費比率は、14.5%となっている。前年度と比較すると0.8ポイント改善されており、早期健全化基準の25.0%と比較しても、これを下回り良好な状態にあると認められる。

エ 将来負担比率について

平成22年度の将来負担比率は、60.1%となっている。前年度と比較すると23.2ポイント改善されており、早期健全化基準の350.0%と比較しても、これを下回り良好な状態にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。

平成22年度五島市資金不足比率審査意見書

1 審査の期間

平成23年8月5日から同月19日まで

2 審査の方法

送付を受けた資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類について、決算書、関係帳簿等と照合し、必要に応じ関係職員の説明を聴取して、その計数の正確性を審査した。

3 審査の結果

(1) 総合意見

審査に付された資金不足比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されていると認めた。

(単位：%)

| 特別会計の名称 | 資金不足比率 | | 経営健全化基準 |
|--------------|--------|--------|---------|
| | 平成22年度 | 平成21年度 | |
| 水道事業会計 | — | — | 20.0 |
| 簡易水道事業特別会計 | — | — | |
| 交通船事業特別会計 | — | — | |
| 下水道事業特別会計 | — | — | |
| 公設小売市場事業特別会計 | — | — | |
| 港湾整備事業特別会計 | — | — | |
| と畜場事業特別会計 | — | — | |

(2) 個別意見

いずれの会計においても平成22年度の資金の不足額はなく、良好な状態にあると認められる。

(3) 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はない。